はじめての環境ボランティア・カタログ&ガイドブック 全国版

やってみよう! 環境ボランティア

EPO 関西ヒートアイランドオフィス

GEIC 関西地球環境コミュニティ会議

さあ、

はじめの一歩。

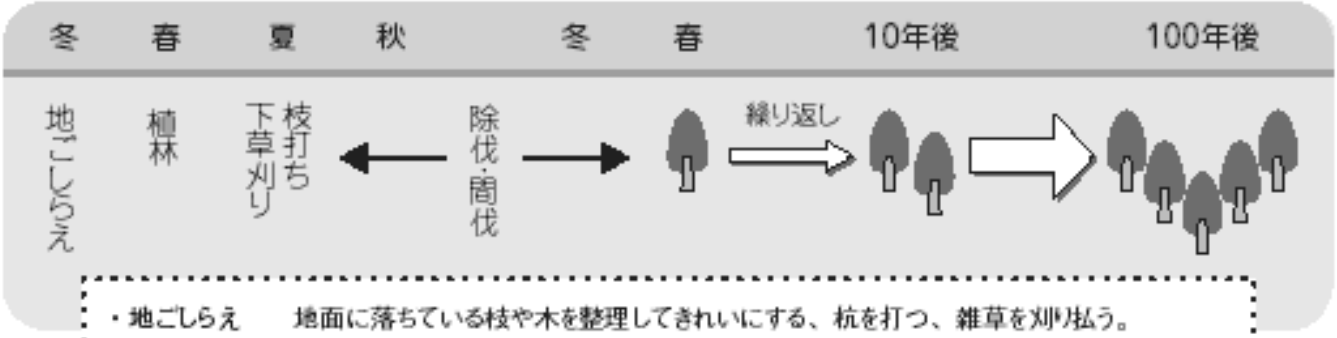
「何かやってみたい」その思いをカタチに

環境・自然を相手にするボランティア

環境ボランティアの特徴のひとつは、環境・自然が相手だという点です。今すぐは目に見えないけれど、「100年後の環境がどうなっていてほしいか」といった長い視点で活動しています。

森林ボランティアの1年

森林ボランティアを例に考えてみます。まず「植林」を思い浮かべがちですが、森を守り育てるには、ほかにもこんなに多くの活動があります。たった１日だけの活動も、持続可能な地球への一歩となることがわかります。



- ・地ごしらえ　地面に落ちている枝や木を整理してきれいにする、杭を打つ、雑草を刈り払う。
- ・植林　植林する場所を決める、穴を掘って植え込む、支柱を立てて苗木を保護する。
- ・下草刈り　苗木の周囲の雑草を刈って、苗木の成長を助ける（5～10年続ける）。
- ・枝打ち　質のよい材木にするため、余分な枝を落とし、森林に日光を入れて成長を助ける。
- ・除伐・間伐　苗木を植えて10年ほどで、間引いて日光を入れる。選定・伐倒。
- ・その他　植林地付近での土砂崩れなどの復旧作業。土壌を安定させ、植林して緑を復活させる。

CONTENTS

■環境・自然を相手にするボランティア
■環境ボランティアの魅力＆特徴 ……1
■やってみようかな？と思ったら ……2
■ボランティアを始める前に 5つのルール…3
■やってみた 環境ボランティア ファイル …4
■森林を守る ……8
植林、枝打ち、草刈り、間伐など森の手入れ、植物のモニタリングほか
■水辺を守る ……9
水質調査、植物・生物観察、クリーンアップ、水草を植える、浸食調査ほか
■身近な自然を守る ……10
植生調査、自然観察会、来園者ガイド、樹木の手入れ、干潟の調査ほか
■野生生物を守る ……11
生息域の保護、野生生物の保護救援、野生生物取引の監視・調査ほか
■クリーンアップ ……12
ごみ拾い、散乱ごみの調査分析、アート作品作成、不法投棄監視ほか
■環境教育 ……13
海、山、川、森、里山の自然体験、エコライフ啓発、教材作成、まちあるきほか
■海外ボランティア ……14
植林、森の手入れ、災害地の復興、動植物の保護、有機農業、野外調査ほか
■自然災害復興 ……15
炊き出し、救援物資の仕分け、衛生管理、被災者の心のケア、地域防災ほか
■食と農 ……16
田畑のオーナーになる、生産者との交流、グリーンツーリズム、援農、食育ほか
■健康と化学物質・公害 ……17
ダイオキシン、環境ホルモン、健康・自然育児、公害問題などの情報提供・啓発ほか
■持続可能な暮らし ……18
グリーンコンシューマー、フェアトレード、自然エネルギー、市民ファンド投資ほか
■NPOサポーター ……20
事務局作業、在宅作業、会員管理、翻訳・通訳、集めて送るほか
■環境ボランティア情報の探し方 ……22
■掲載団体一覧

環境NPO/NGOスタッフやボランティアがあげる

環境ボランティアの魅力&特徴

魅力

自然と触れ合える

自然とのつながりが体感できる／感覚が研ぎ澄まされる／自然と対話ができる／空気・水・太陽・生物に感謝!／フィールドに直接触れる

世代を超えて

次世代に託す喜び／100年後を考えた植林／次世代の将来・未来につながる／持続可能な地球へ

暮らしを見つめ直す

“人間”を考え直す／人と自然とのかかわりや暮らし方を考える／すべての人に関係する問題に対してのアクション

結果は自分に返ってくる

Give and Take／自然を守り、その恩恵に自分も浴することができる／誰もが地球の上で暮らす

世界規模・地球にかかわる

グローバルな問題に自ら取り組める／地球を感じる／地球との一体感が得られる／ちっぽけな自分に気づく／視野が広がる

地元密着・コミュニティの再生

地域での一体感／仲間が得られる／人とかかわる

フラットなつきあい

自然の中では人はみんな平等／いろいろな人と出会える

癒し（おトク感がある）

リラックス／ストレス解消／癒し系／良い気分になれる／心が洗われる清々しさ・清涼感／運動不足解消／ビールがうまい

誰でもできる

一人でもできる／活動テーマや暮らしに合わせて選べる／いろいろなスタイルがあり、誰でも気軽に参加できる／自然は誰でも受け入れてくれる

特徴

- 天候など状況が変化する。当日にプログラムが変更になることもある。
- 安全面、リスクマネジメント面での配慮が必要。
- 地球環境問題という大きなものを解決するには、まず目の前の課題をひとつずつ解決することが大事。Think Globally, Act Locally!の精神で。
- 特に現場で活動するボランティアでは、頭で理解していた環境問題の原点を、作業を通して体感できる。その後の自分自身の意識や行動が変わる。今後の自信にもつながる。自分のものになる。

やってみようかな？と思ったら

やってみようかな？

自分にもできそう！ 環境問題のここが気になる？時間や地域は？自分は何をしたいの？性格や体力に合うかな？自分の気持ちが動いたときが環境ボランティアの始め時。自分の「好き」なことや自分の割ける時間の中で、やってみたいことやできることなどの条件を一度イメージしてみよう。好きなことなら楽しいし、長続きする。

情報を得る

自分には何ができるの？ということから、具体的にボランティアを募集している団体の紹介まで、親切に相談に乗ってくれるのが、環境情報センターやボランティアセンター。センターにはさまざまな団体のセミナーやイベントなどの情報があり、団体の雰囲気もつかめる。自分の関心にもしっくりくる団体を探すなら、インターネットや本の情報から探すのもいい（本誌巻末のリスト参照）。

セミナーやイベントに参加してみる

現在ボランティアとして活躍している人の多くが、講習会やイベントに参加したことから活動を始めているようだ。現場の活動内容や雰囲気を生でつかむ良い機会だし、最近の環境問題の動向を知るチャンスでもある。特別に希望者への説明会を開催したり、ボランティアの活動日を定期的に設けている団体もある。

活動団体にアクセス

参加してみたい団体・イベントプログラムの候補が決まったら、参加の意志を伝えよう。不明な点は事前に確認してから参加の意志を伝えるようにすれば、無用のトラブルは避けられる。連絡先は、一般家庭であったり、事務所であってもスタッフが常駐していない場合があるので、連絡の際は配慮が必要。アプローチの際は右ページの「5つのルール」を思い出して。

活動開始！

活動には徐々に慣れていこう。分からないことはスタッフや先輩ボランティアに聞こう。独断は禁物。自分の「好き」と「楽しい」をその仲間の中で見つけていけば、どんどんエネルギーは湧いてくる。さまざまな年齢層・職種の人たちとの出会いの中で知らないうちに自分自身が多くのことを学べる。

ボランティアを始める前に　5つのルール

1 自主的に活動しよう――好きなことを大事に

活動に参加することを決めるのは、自分自身。無理をしないで楽しくやろう。やりたくないこと・できないことには、始める前にはっきりNOと言うことが大切。

2 相手を尊重しよう

一人ではできないことも、仲間と協力しあうことによって実現できるのがボランティアの良いところ。活動の中で出会う人たちに対し、学びの気持ちを大切に接していけば、きっと自分の成長にもつながる。

3 電話や手紙でアプローチするとき

資料請求や質問の電話をするときは、的確に素早く目的が伝わるように、聞きたいことや伝えたいことなどを、事前に整理しよう。どこの団体も忙しいし、市民団体の連絡先電話番号は事務所のない団体の場合、個人の家の場合もある。深夜や早朝は避けるなど常識的な対応をしたい。資料請求や質問の手紙では、返信用の切手を同封するなどの配慮をしよう。

4 事務所を訪問する場合

訪問は事前に予約しよう。活動団体は、時期によっては時間が取れない場合もある。訪問時は約束の時間を厳守。一方的に話したいことだけ話しているようではいい関係は築けない。用件は簡潔に伝えて。

5 約束には責任を持とう

約束した以上、相手は期待している。準備をしている場合もあるかもしれない。ボランティアといえども、時間や約束は大事にして。土壇場のキャンセルは厳禁。

「ボランティア保険」を知っていますか？

ボランティア活動にも危険はつきもの。さまざまな活動中には事故が発生することもある。川や山など野外フィールドでの活動が多い環境ボランティアを始めるときは、必ずボランティア保険に入ろう。

ボランティア保険は、参加者や主催者が活動中に事故にあった場合の、入院、手術、通院や、後遺症、死亡の保険金（傷害保険）と、他人の身体や財産を傷つけてしまった場合の損害賠償金（賠償責任保険）がセットになっていることが多い。

代表的なものには、全国社会福祉協議会の「ボランティア活動保険」がある。個人でも団体でも加入でき、掛け金は年間300～700円程度だ。このほか、イベントごとに掛ける「ボランティア行事用保険」（団体のみ）もある。

ただし通常のボランティア保険は、チェーンソーを使用する森林ボランティアなど、カバーできない活動もある。こうした活動には森づくりフォーラムの「グリーンボランティア保険」がいい。この保険は、森林にかかわる作業全般から、公園や川、海での清掃など、幅広い活動を対象としている。

ほかにも、全国のボランティアセンターなどで同様の保険を扱っているところもある。18ページのリストを参考に、最寄りのセンターに問い合わせてみよう。

■ **問い合わせ先**

（社福）全国社会福祉協議会　TEL 03-3581-7851　http://www.fukushihoken.co.jp/
（特活）森づくりフォーラム　TEL 03-3868-9535　http://www.moridukuri.jp/

環境NGO　ezorock

音楽好きな方、環境問題が気になる方、参加をお待ちしております！

やってみた!!　プロフィール

☆　**石川　茂（50代）**

会社経営　　活動歴：８年

休日、イベントで
団体名：環境NGO ezorock
場　所：北海道
http://www.ezorock.org

私のやってみた！！

27年前から、リサイクル製品を製造する仕事に携わっております。仕事をしていれば環境保護、改善に貢献出来ていると思っていたのですが、個人としての学習や実践も必要と考え、知人の紹介でリサイクルに重点を置いた環境団体へ入りました。元来の勉強嫌いですので、学習の方は一般の方よりも劣る位ですが、体力には自信がありますので、フリーマーケットにて不用品、リサイクル品の販売をしたり、単発的なイベントでも人手を必要としている処には所属に関係なく、楽しく出向いております。その中でも、私自身の最大のイベントは、夏に行われる「ライジングサン　ロックフェスティバル」にてのゴミ分別ナビゲートであります。孫のような学生ボランティアから、新しい価値観を分けてもらい、共に感動の朝陽を５年間迎えました。自分も含めて、人間の引き起こした環境破壊は、人間の手によって修復しなければなりません。

あたり前の家づくりNET＆寺子屋

あたり前の暮らしを体験しよう！

やってみた!!　プロフィール

☆　**増田　竜（19）**

大学生　　活動歴：一ヶ月

休日、田舎で
団体名：あたり前の家づくりNET＆寺子屋
場　所：千葉県香取市大角
連絡先：FAX　044-864-6470

私のやってみた！！

海外への短期留学などを通して、日本の文化をもっと深く知りたいと思い、今年は“日本回帰”をテーマにさまざまなことに挑戦しようと考えていました。そんな時に出会ったのが、古民家の再生を行うボランティアです。場所は、千葉県香取市。里山に囲まれた谷の間に広がる田んぼは、まさに日本の原風景そのものです。このプロジェクトは、築百年を超える古民家を再生し、人が滞在できるような状態にしようというものです。ボランティアは隔週で行われ、私が参加した時には、田植えと、土壁塗りを行いました。どれもはじめての体験で、かつての日本の暮らしを肌で感じることができました。参加されていた方は、学生から、社会人の方までさまざまで、参加者同士の交流も大変刺激的でした。みなさんも、日本の原風景の中で汗を流してみてはいかがですか。

タンザニアポレポレクラブ

小さな一歩が変える世界、あなた自身。
一緒に取り組んでみませんか!?

やってみた!!　プロフィール

☆　**塩原　琢歩（20）**
大学生　　活動歴：はじめて

長期休みに、海外で植林
団体名：タンザニアポレポレクラブ
場　所：海外・国内
http://polepoleclub.ld.infoseek.co.jp/

私のやってみた！！

一昨年の夏に私はGEICでインターンをしていました。その時にGEICの掲示板にこんな文字を発見したのです。植林、ワークキャンプ、アフリカ（そもそもタンザニアって、何処？）即座に無理だと思いました。キリマンジャロの大きな山が私の前に聳え立ち、行く手を阻んでいるように感じました。それもそのはず、今までボランティア経験のない環境にも無知な私が、植林、ましてアフリカに行くなんて、誰が想像できたでしょうか。しかし私はその半年後、飛行機の中にいました。そして気がつくと、現地の人々と楽しく笑いながら、植林活動をしていました。もちろん植林活動は辛いものでしたが、一緒に行った幅広い年齢層のメンバー達に支えられながら、遠く離れたアフリカの地で、多くの事を吸収し、また今までとは違う視点から日本という国を見る事ができました。アフリカ・タンザニアで見たあの景色、そして現地の人々との交流等、思い出すだけで心が揺さぶられます。　「きっと忘れない、絶対に忘れない」

サーフライダー・ファウンデーション・ジャパン

美しい海を、次世代に～未来の子ども達に、夢を託す出前授業に参加しませんか。

やってみた!!　プロフィール

☆　**高橋　紀子（30代）**
レディースプラザサードテラス（あいおい損害保険株式会社）勤務　活動歴：1年

休日、イベントで
団体名：サーフライダー・ファウンデーション・ジャパン
場　所：全国
http://www.surfrider.jp/

私のやってみた！！

「サーフィンを通して、海のこと・環境のこと等を伝えていく"出前授業"」に参加しました。小学校体育館で「マットを波にみたてサーフボードを使い、子供達が波乗り擬似体験」のお手伝いや、ビーチコミング体験サポートをしてきました。子供達より、お父さん・お母さんが一番楽しそうで、私自身も、童心に戻って楽しみ、素敵なひとときを過ごしました。「出会った子供達が大きくなっても純粋な気持ちのままで、環境に対し関心を持ち続けてくれれば良いな」と感じました。私が活動を始めたきっかけは、レディースプラザサードテラス（保険を身近に感じてもらう空間）を運営しており、そこで"環境ボランテイア"冊子に出会いました。趣味やスポーツ等、環境について考えるきっかけは、幾らでもあります。皆さんも、身近な関心事から、気軽に参加してみてください。きっと新しい発見がありますよ！

にっしん市民環境ネット

「1人の100歩よりも100人の1歩」
みんなで楽しく活動しています。

やってみた!!　プロフィール

☆　**中西　和子（40代）**

歯科医師　活動歴：３年

団体名：にっしん市民環境ネット
場　所：愛知県日進市
http://nissin.ifdef.jp/

私のやってみた！！

市役所の募集した市民環境会議から発足したNPOに入って３年目です。13ものプロジェクトがあり、市役所からの委託も受けたりしてとてもやりがいを感じています。市役所の人ともたくさん知り合いになり、価値観が変化したように思います。身近な所（家庭など）からエコを広げる企画をするエコ生活プロジェクト、子どもの環境活動をサポートすることも参画プロジェクトなどの活動をしています。プロジェクトがコラボレーションした、環境寄合（写真）では、エコ行動したらシールがもらえるお店を掲載した「エコマップ」を地域の人に紹介しました。自分の企画が形になったり、いろんな声が聞けるのは、おもしろいです。自分が主体性をもつことで、出会う仲間もすばらしく感じるような気がします。他にも、のんびり村や農業公園など多様なプロジェクトがあるので、自分の取り組みやすいものを選んでやってみてください。

日本ウミガメ協議会

ウミガメと共に生きてゆける自然環境について考える。

やってみた!!　プロフィール

☆　**島田　貴裕（20代）**

塾講師　活動歴：１年

団体名：日本ウミガメ協議会
場　所：大阪府
http://www.umigame.org/

私のやってみた！！

ウミガメ協議会に携わってかれこれ一年がたちますが、「ここでのボランティアは何をするの？」と聞かれても、答えるのにとても困ってしまいます。僕自身、昨年の夏にはアカウミガメの産卵・孵化調査に参加させてもらい、秋には日本ウミガメ会議で通訳をし、冬にはメキシコのウミガメ会議で口演して、最近では室戸の漁港で漁師さんのお手伝いをしながら、ウミガメ混獲調査に同行してきました。他のボランティアはというと、社会勉強のために来ている学生、ウミガメ研究を志す若者、いわゆるカメオタク、中には毎日ニコニコしながら骨の標本作りに青春を費やしている若い女の子もいます。このように、ボランティアの活動は多岐にわたります。ただ一つだけゴールデンルールがあります。ここでは、自分で物事を考え行動に移すことが非常に大事です。そうすれば、かけがえのないボランティア経験になること間違いなしです。

五色台パークボランティア

五色台の自然の中で、あなたの未知なる力を発揮し活動をしませんか。

やってみた!!　プロフィール

☆　**好井　智子（50代）**

公務員　活動歴：10年以上

休日、山で
団体名：五色台パークボランティア
場　所：香川県
問合先：環境省　中国四国地方環境事務所高松事務所　TEL:087-811-6227

私のやってみた！！

五色台で、ボランティア活動を始めてから、10年以上が過ぎました。親子、を対象にして季節ごとに観察会を開催したり、食体験として春の新芽や葉、タケノコを、秋は木の実やドングリを食べたり、竹を使っての食器づくりなどのクラフトをしたり、自然の中で活動をやってきました。参加したお父さんが子どもよりも熱心に作っていたり、お母さんが料理の仕方を聞いたりと子どもたち一緒に活動している姿を見るととてもほほえましく、とてもうれしいです。中には私たちよりも詳しい人や上手な人がいて、逆に教えられることもあり、とても参考になることもあります。小さな子どもが一生懸命にのこを使って太い竹を切り、自分より大きな竹を運んでいる姿や雨の中でも元気に森の中を歩き、小さな生き物を見つけたときのうれしそうな顔など……ボランティア活動をしていて、こちらが元気をもらうことがたくさんあります。

地球緑化センター

地球緑化センターは、地球の緑を守るボランティアを育て、応援します。主役は、ボランティア。つまり、こどもたちとあなたです。

やってみた!!　プロフィール

☆　**佐々木隆一郎（60代）　活動歴：15年**
無職（在職中は食品製造会社の営業）
現在、語り部チームリーダーとして活動中。

平日、休日問わず
団体名：地球緑化センター
場　所：学校で、野外で、イベントで
http://www.n-gec.org

私のやってみた！！

地球緑化センターの活動に、「紙芝居（ガスラー）」があります。小学生児童から中学生徒達に、こどもの心で「温暖化防止」「地球環境の未来」を考えてもらえればとの思いから、環境学習の一助になればと、活動をしています。紙芝居の登場人物は、森の「天狗さん」と川にすむ「河童さん」がこども達と一緒になって怪獣「ガスラー」（二酸化炭素ガス）と戦い、たくさんの植樹をしてガスラーを退治するというストーリーです。こどもたちが主体で役割をきめ、応援歌を皆と歌いながら全員が参加をする、いきいきとした歌声、キラキラとした眼差し。。。　何時もとても賑やかな教室になります。それにともなって、こどもたちに植樹できる場所を整備し、苗木をそろえて野外体験学習として植樹活動の応援もしています。こどもたちはもとより、同行する父母の方々はこどもたち以上に一生懸命になり、親子ともども流す汗の大切さを感じるひとときです。

森林を守る

世界では20世紀最後の10年間に9400万haもの森林が失われ、国際会議で途上国の森林減少抑制を議論する機会も増えています。国内の森林も、手入れが行き届かず荒廃しています。野生鳥獣の生息の場であり、渇水や洪水の緩和、水源かん養機能、二酸化炭素の吸収による地球温暖化の防止など、多様な役割がある森林を守るために私たちにもできることがあります。

「イベント」「団体」などの情報提供（全国）

「緑の募金」でおなじみの国土緑化推進機構では、一般市民の参加を呼びかけ、森林ボランティア活動の輪を広げている。全国各地の団体の活動情報を、地域ごとにカレンダーで分かりやすく発信するウェブサイト（http://www.green.or.jp/volun/）を開設。

（社）国土緑化推進機構
東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館内
TEL 03-3262-8451　http://www.green.or.jp/

森づくり活動のよりよい発展を目指すネットワーク（全国）

「市民参加の森づくりの流れを広げるための基盤整備」を行う。そのために、「森林ボランティア活動」などのプログラム提供をはじめ、森林ボランティア、森林所有者、行政、企業など、すべての人が協働して森林づくりを行う仕組みづくりなどを行う。

（特活）森づくりフォーラム
東京都文京区本郷3-2-3 齊藤ビル3階
TEL 03-3868-9535　http://www.moridukuri.jp

家族みんなで森林体験！（大阪）

市民ボランティアによる、森林の手入れ、健全な森林づくり活動や、指導者の養成を行う。自然に親しみ、自然に対する正しい認識と理解を深め、自然との共生のあり方を学び、都市と山村との交流を図る。森林ボランティアグループのネットワーク交流イベントも開催している。

（特活）日本森林ボランティア協会
大阪府大阪市北区茶屋町２番30号
大阪聖パウロ教会５階
TEL 06-6376-8255　http://www.npomori.jp/

農山漁村と都市を結ぶ（全国）

森林ボランティア活動の入門講座として「森林の楽校（もりのがっこう）」を全国１１カ所で開催。プログラムは、森づくりや自然散策などの体験、学習、交流からなる。また、「森林ボランティア青年リーダー養成講座」や資格検定制度「エコサーバー」の実施を通じて、都市と農山漁村を結ぶ担い手の育成にも力を入れている。

（特活）JUON（樹恩）NETWORK
東京都杉並区和田3-30-22大学生協会館内
TEL 03-5307-1102　http://juon.univcoop.or.jp/

内モンゴルで砂漠緑化プロジェクト（中国）

地球の陸地の４分の１、世界の６分の１の人々が砂漠化の影響を受けているといわれるが、私たちにはその深刻さがなかなか実感できない。FoE Japanは、実践を通じて砂漠化への理解を深めるため、内モンゴル・ホルチン砂漠での緑化活動を開始。地元住民と協力し、緑の再生に取り組んでいる。

国際環境NGO　FoE Japan
東京都豊島区目白3-17-24 2F
TEL 03-3951-1081　http://www.foejapan.org/

提供：国際環境NGO　FoE Japan

水辺を守る

周囲を4つの大きな海流に囲まれた日本は豊かな海に恵まれ、山の多い地形と湿潤な気候はいくつもの河川を生み、私たちの生活を潤しています。ところが陸に住む私たちは、暮らしや命そのものに欠かせないこの水の循環を、あまり意識することなく生活しています。もっと水辺に親しむ機会を増やしてみませんか。

国際的なサンゴ礁の保護活動（全国）

サンゴ礁の健康度を調べる「リーフチェック」は、毎年継続的に80もの国や地域で、ボランティアダイバー・地域住民・研究者により行われている。日本ではコーラル・ネットワークが活動を推進している。南西諸島～伊豆半島で行われるリーフチェックには、専門知識がなくてもダイバーなら誰でも参加できる。

コーラル・ネットワーク
神奈川県相模原市橋本6-45-18
TEL 042-774-3226
http://coralnetwork.jp/

サーファーは海のカナリア（全国）

鉱山では有毒ガスを検知するために、空気の汚染に敏感なカナリアを使ったという。海の環境の変化に敏感なのは、日ごろから海に接しているサーファーやボディボーダーだ。独自の情報網を利用し、水質調査やビーチクリーンアップ活動・海岸の侵食調査を行っている。

サーフライダー・ファウンデーション・ジャパン
京都府京丹後市網野町網野656
TEL 0772-72-1161　http://www.surfrider.jp/

提供：（特活）三番瀬環境市民センター

市民の力で江戸前の豊かな海を（千葉）

東京湾の最奥部に広がる三番瀬。この干潟・浅海域の保全・再生と海を活かしたまちづくりを目指して活動している。観察会や体験イベント、シンポジウムなどを開催したり、三番瀬の再生に向けた、アマモ場、後背湿地の再生実験や調査なども行っている。本格的に活動したい方には「三番瀬レンジャー講座」の受講をお勧めしたい。

（特活）三番瀬環境市民センター（NPO三番瀬）
千葉県市川市妙典6-10-28-303
TEL 047-358-6233
http://www.sanbanze.com/npo/

湖と森と人を結ぶ霞ケ浦再生事業（茨城）

1995年より湖岸植生帯の復元、水源の山林や水田の保全、外来魚駆除を地域振興環境教育と一体化しながら流域全体で展開。これまでに11万人を超える市民、農林水産業、流域の170の学校、企業、行政などが参加する「市民型公共事業」に発展した。100年後にトキの舞う霞ヶ浦を目指している。

（特活）アサザ基金
茨城県牛久市栄町6-387　TEL 029-871-7166
http://www.kasumigaura.net/asaza/

“いい川”を育む全国の仲間（全国）

川や水辺環境の保全・改善等に取り組む仲間の緩やかなネットワーク。立場を超えた人や情報の交流を通じた“いい川”の保全・回復、地域づくりなどに関わる市民レベルの取り組みを推進する。シンポジウムや研究会のほか、全国の活動事例を持ち寄り、官民共に“いい川”を考える「川の日」ワークショップを開催。

（特活）全国水環境交流会
東京都渋谷区神宮前1-20-14神宮村301
TEL 03-3408-2466　http://www.mizukan.or.jp/

身近な自然を守る

どこか遠くまで出かけないと本物の自然は味わえない、そんなふうに思っていませんか。意外なことに大都市の近くには豊かな里山が、また都会の真ん中の公園にさえ小さな自然はしっかり息づいているのです。毎日の暮らしを彩る身近な自然だからこそ、自分たちの手でしっかり守っていきたいですね。

「緑を守る人」を育てる（全国）

全国の奥山・里山・都市近郊のさまざまなフィールドで緑の保全活動を行っている。自然環境・生態系に関する正しい知識を広めるため「グリーンセイバー（緑を守る人）」検定を実施し、自然との調和を取り戻す社会づくりに貢献する人材の育成を目指している。

（特活）樹木・環境ネットワーク協会
《東京事務局》東京都新宿区住吉町1-20 角張ビル4F
TEL 03-5366-0755
《大阪事務局》大阪府交野市私市5丁目17番11号
TEL 072-893-1716　http://www.shu.or.jp/

市民が所有し価値ある自然を守る（全国）

価値ある美しい自然や歴史的建造物を募金や寄付などで取得し、これを保全・維持・管理・公開することで、次世代に残すナショナル・トラスト運動。ウェブサイトには、全国で活動しているナショナル・トラスト団体のリストがあり、近所の活動を探すのに便利。

（社）日本ナショナル・トラスト協会
東京都豊島区西池袋2-30-20 音羽ビル3階
TEL 03-5979-8031　http://www.ntrust.or.jp/

提供：（特活）樹木・環境ネットワーク協会

里山から21世紀のライフスタイルを発信（京都）

美しい里山は、人々が手を加えてできた知恵や技術の結晶。その里山を「都市との交流」の舞台とすることを目指し、森林ボランティア、米作り塾、そば塾などの体験活動やインターネット農園「ファーマーズびれっじ」など、総合的な活動を展開している。

（特活）里山ねっと・あやべ
京都府綾部市鍛治屋町茅倉9番地
TEL 0773-47-0040
http://www.satoyama.gr.jp/

仲間が集まる休日の野鳥公園（東京）

埋立地によみがえった自然を生かしてつくられた東京港野鳥公園では、開園以来210種類の野鳥が観察されている。緑の腕章をつけた“グリーンボランティア”は、来園者へのガイド、樹木や田んぼや畑の手入れ、干潟の調査・管理など、多彩な活躍をしている。60歳以上の“シルバーガイドボランティア”も活躍中。

東京港野鳥公園グリーンボランティア
東京都大田区東海3-1　TEL 03-3799-5031
http://f38.aaa.livedoor.jp/~green/

環境省の身近な自然を守る活動（全国）

全国の国立公園で美化清掃などに活躍する「パークボランティア」や、夏と冬に星の見え方を調べる「スターウォッチング・ネットワーク」などがある。

環境省自然環境局自然ふれあい推進室
http://www.env.go.jp/nature/park/volunteer.html
環境省水・大気環境局大気生活環境室
http://www.env.go.jp/kids/star.html

野生生物を守る

絶滅の恐れのある野生生物種の数は、１万6,000種以上に上ります。主な原因は乱獲や生息地の破壊。世界でも有数の野生生物の消費国である日本は、国内でも昔ながらの農業の衰退や、開発に伴う生態系の変化により、野生動植物の生息地を脅かしています。野生生物と共に生きていける世界を残せるかどうかは、私たちの行動次第です。

イルカ・クジラを知って地球を知る（全国）

「イルカやクジラについて知ること、学ぶことを通して、イルカ・クジラや自然を大切にできる人を増やしたい」そんな思いから、イルカ・クジラに関するリサーチ・教育活動を展開。展示イベントや子どもワークショップなどの企画運営ボランティアを募集中。

アイサーチ・ジャパン
東京都中央区銀座1-12-4 新小知和ビル2階
TEL 03-3564-2662　http://www.icerc.org/

野生動物との共存の道を探ろう（兵庫）

絶滅の危機にあるクマなどの大型野生動物と、彼らが生息する清浄な水と空気の源である豊かな森を次世代に残すため、奥山復元植樹、環境教育、講演、行政への提言などを行っている実践型の自然保護団体。多くの若い世代も大活躍している。

日本熊森協会
兵庫県西宮市分銅町5-4 リバーハイム分銅A棟101
TEL 0798-22-4190（10:00〜16:00、水・日・祝休み）
http://homepage2.nifty.com/kumamori/

科学者が行う自然・環境保全調査に参加（全国・海外）

１５０を超える希少種や絶滅危惧種の調査プロジェクトを毎年実施。特別な技術を持たない人にも、研究者とともに野外調査に加わることで、「地球のいま」を体感できる機会を提供している。毎月開催される「ミニトークショー」で参加者の声を聞いてみよう。

（特活）アースウォッチ・ジャパン
東京都千代田区三番町24-25 三番町TY プラザ5F
E-mail info@earthwatch.jp
http://www.earthwatch.jp/

密輸・密猟から野生生物を守る（全国・海外）

トラフィックはワシントン条約の発効を受け設立された、ＷＷＦ（世界自然保護基金）とIUCN（国際自然保護連合）の共同プログラムだ。野生生物取引の監視や調査のほか、条約がうまく機能するよう国内法の改善を提案するなどの活動を行っている。

トラフィック イーストアジア ジャパン
東京都港区芝3-1-14 日本生命赤羽橋ビル6階
E-mail traffic@trafficj.org
http://www.trafficj.org/

多様な生命が息づく森を取り戻す（愛知）

「山に生き物が少ないのはなぜ？」という海外の人たちの問いかけを受けて始まった会。ニホンリスのような野生動物が生息できる“生きた森”を取り戻すため、５０〜１００年後の森の姿を描いて活動中。クルミの収集から小型発信機による行動範囲の調査など、ボランティア活動の内容はさまざま。

守山リス研究会
愛知県名古屋市守山区小幡北1228北山様方
TEL 052-795-2616　http://www.asahi-net.or.jp/~fb4m-iszk/risuken/

提供：守山リス研究会

クリーンアップ

街中に落ちているごみから有害廃棄物まで、国境を越えるクリーンアップの対象は多岐にわたります。私たちの経済活動と表裏一体のごみ問題は、ときに誤って飲み込んだ野生動物の命を危険にさらし、生態系へ深刻な影響を与えることさえあるのです。クリーンアップが、人間社会と自然環境の関係を見直すきっかけになるかもしれません。

イベント会場のごみ減量作戦（全国）

A SEED JAPANの中でも最も長く続いている「ごみゼロナビゲーション」は、「Fuji Rock Festival」をはじめとした野外イベントで、ごみの削減やリサイクルを「来場者参加型」で実践する活動だ。地球にやさしく人にやさしいイベントの創造に挑戦し続けている。

国際青年環境NGO A SEED JAPAN
ごみゼロナビゲーション
東京都新宿区新宿5-4-23　TEL 03-5366-7584
http://www.gomizero.org/

世界の海岸で一斉にクリーンアップ（全国）

海や川に散乱するごみの調査やクリーンアップキャンペーンは、世界中118の国と地域で同時期に同じ方法でごみのデータを取るのが特徴だ。ごみの由来や発生源がよくわかり、蓄積したデータをもとにごみの出ない暮らし方を提案している。

クリーンアップ全国事務局（JEAN）
東京都国分寺市南町3-23-2 小松ビル3F
TEL 042-322-0712
http://www.jean.jp/

野口健と行く富士山清掃登山（山梨・静岡）

エベレストに散乱する日本隊のごみを見て清掃登山を始めた世界的アルピニスト野口健が、一般の参加者とともに人海戦術で清掃に取り組む。青木ヶ原樹海の強烈な臭いには、有無を言わさない危機感を覚えるだろう。清掃登山とトレッキングで、神秘的な富士山の魅力にも触れる。

（特活）セブンサミッツ持続社会機構
東京都世田谷区弦巻2-17-19
TEL 03-3426-2487
http://www.actions.jp/

合言葉は“ KEEP CLEAN, KEEP GREEN. ”（東京）

「キレイな街は、人の心もキレイにする」を掲げて誕生したプロジェクト。「ごみやタバコをポイ捨てしない」と宣言すれば、誰もがgreen birdのメンバーだ。主な活動は、東京・表参道の平日に行う「朝そうじ」。賛同した仲間が、下北沢や駒沢、福岡、鎌倉、吉祥寺、渋谷でも活動を始めている。

green bird 事務局
東京都渋谷区神宮前6丁目35番3号 コープオリンピア206
TEL 03-5469-5318　http://www.greenbird.jp/

釣り人の手で釣り場を守ろう（全国）

釣りを楽しみながら、各地でクリーンアップ大会を実施。また、外来生物への正しい理解を促すパンフレットを作成するなど、釣り人の環境意識を育てている。また、釣り場環境保全リーダーを育成する「フィッシング・エコ・リーダー資格試験」も行っている。

（特活）日本釣り環境保全連盟
山梨県南都留郡富士河口湖町船津6713-39
ITプラザ内
TEL　0555-83-3277　http://www.npo-jef.jp/

提供：（特活）日本釣り環境保全連盟

環境教育

レイチェル・カーソンは著書『センス・オブ・ワンダー』の中でこう言います。「『知る』ことは、『感じる』ことの半分も重要ではない」と。とかく知識偏重になりがちな今、「センス・オブ・ワンダー」つまり、神秘さや不思議さに目を見張る感受性を身につけること、これこそが環境教育の目指すところかもしれません。

身近な暮らしの「環境共育」（京都・全国）

環境まちづくりやグリーンコンシューマー活動の草分けである環境市民では、日々の暮らしの中にある「当たり前の視点」を変える「きっかけづくり」を大切にしている。ボランティアは、カルタや絵本などの教材と、クイズ、劇、ワークショップなどの企画・実施に参加できる。環境教育ウェブサイトや小学校の環境教育プロジェクトなど、新しい企画も盛りだくさん。

（特活）環境市民
京都府京都市中京区寺町二条下る呉波ビル３Ｆ
TEL 075-211-3521
http://www.kankyoshimin.org/

リーダー養成講座に参加してみよう

蘿 CONEリーダー（全国）

自然体験活動推進協議会(CONE)には、現在270以上の団体が加盟し、自然体験活動指導者の養成事業を展開。自分に合った分野の団体を見つけてみよう。

（特活）自然体験活動推進協議会（CONE）
東京都新宿区新宿5-7-8-6F
TEL 03-5363-2501　http://www.cone.ne.jp/

蘿 NACS-J 自然観察指導員（全国）

地域で自然観察会を開くボランティアリーダーを養成する講習会を全国各地で開催。原則として金・土・日の2泊3日。その後、受講者を対象に、フォローアップ研修会も実施している。

（財）日本自然保護協会（NACS-J）
東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F
TEL 03-3553-4105　http://www.nacsj.or.jp/

環境教育実践者をネットワーク（全国）

日本環境教育フォーラムは、環境教育の普及（環境教育講座の開催など）、自然学校の普及、途上国環境教育支援、環境教育人材養成などに取り組んでいる。自然体験イベントや全国の施設の情報、また役に立つ自然体験プログラムなど、ウェブサイトも充実。

（社）日本環境教育フォーラム
東京都新宿区新宿5-10-15 ツインズ新宿ビル4F
TEL 03-3350-6770　http://www.jeef.or.jp/

人・自然との出会い、生命を大切に（福岡）

野外体験活動、シーズンキャンプ、自然体験フェスティバルなど、数多く開催する「体験的教育活動」の準備や実施などをサポート。ボランティア自身の資質向上のためのキャンプリーダートレーニング、体験活動指導員養成講座もあり、学生・社会人・主婦・教員を目指す方など、幅広いボランティアが活躍中！

体験活動ファシリテーション協会（FEA）
福岡県福岡市早良区百道1-34-2
TEL　092-833-1081
http://www1.bbiq.jp/fea-fea/

提供：（特活）環境市民

海外ボランティア

地球温暖化、海洋環境の劣化、砂漠化など、地球規模で起こる環境問題に国境はありません。ほんの少しの勇気を出して、海外の活動にも挑戦してみませんか。海外ボランティアの醍醐味は、活動を通じて世界が広がり、新しい価値観を発見すること。志を同じくする世界中からの仲間に出会えます。

国境を越えた架け橋になろう！（世界各地）

国際ワークキャンプでは国籍の違う若者たちが寝起きを共にし、森の手入れ、動植物の保護、有機農業の応援、遺跡の発掘や城の修復、学校の建設、村祭りの運営など、地域の特色を生かしたユニークなプロジェクトに取り組んでいる。

（特活）NICE（日本国際ワークキャンプセンター）
東京都新宿区新宿2-1-14
エレメンツ新宿ビル401
TEL 03-3358-7140　http://nice1.gr.jp/

グローバルな環境活動家になる！（全国・海外）

森林問題、海洋生態系問題などあらゆる環境問題について幅広い取り組みを行っている国際組織。事務所（東京）での事務ボランティアはじめ、現地で活動するボランティアを募集することもある。グローバルな問題に取り組みたいなら参加してみよう。

（特活）グリーンピース・ジャパン
東京都新宿区西新宿8-13-11 N・Fビル2F
E-mail volunteer@greenpeace.or.jp
http://www.greenpeace.or.jp/info/volunteer

砂漠緑化・砂漠化防止活動（中国）

日本から最も近い砂漠、中国内蒙古自治区ホルチン砂漠にて、自然林の植生の回復を目指し、人為的な要因で砂漠化が発生・拡大した土地の緑化・砂漠化防止活動を展開している。ボランティア・エコツアー「緑化隊の旅」参加者を4月から10月の約半年間、ほぼ毎月1回のペースで募集している。

緑化ネットワーク
東京都中央区日本橋2-16-3 加藤ビル4A
TEL 03-3517-5805
http://www.green-network.org/

海の自然環境の豊かさを未来へつなぐ（世界各地）

海洋域の自然環境や生物・生態系について学ぶ機会を提供し、自然体験プログラムを通して環境保護の啓発活動を行っている。インド洋クリスマス島で、現地レンジャーの活動をサポートする調査ボランティアを随時募集している。

（特活）OWS
東京都豊島区雑司が谷3-11-2
ストーク雑司が谷302
E-mail info@ows-npo.org
http://www.ows-npo.org/

農業開発と環境との調和を目指す（アジア）

日本を含むアジア諸国の、農業および都市開発と自然環境との調和を目指した環境修復保全に取り組み、環境教育を通して自然資源の持続的利用のために活動している。現地プログラムに参加できるワークキャンプのボランティアも随時募集している。

（特活）環境修復保全機構（ERECON）
東京都町田市小野路町2987-1
TEL 042-736-8972
http://www.erecon.jp/

提供：（特活）OWS

自然災害復興

大地震、台風、豪雨など、明日は自分の身に起こるかもしれない大災害。何か役に立ちたい、と思っても、現地に個人で直行しては、せっかくの好意が迷惑になることもあります。被災地の情報を把握し、必要な支援をコーディネートする団体にアクセスしましょう。そうした団体では、日ごろの防災や災害時の活動の研修も行っています。

過去の災害の教訓を全国に発信（全国）

阪神・淡路大震災などで学んだ教訓を全国に発信し、各地で防災と災害救援の研修に講師を派遣。災害時には、国内外の産官学民の枠を超えた連携を呼びかけ、ボランティア希望者に対して、被災地に開設したボランティアセンターを紹介してくれる。

（特活）日本災害ボランティア・ネットワーク
兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 国際健康開発センター２Ｆひょうご国際プラザ内
TEL 078-231-9011
http://www.nvnad.or.jp/top.html

海外緊急支援のノウハウを国内災害に（全国）

国内外における緊急支援の経験を生かし、大規模国内災害の際にスタッフと共に活躍する、専任ボランティアの事前登録を行っている。炊き出し、生活物資の調達、通訳、医療、簡単な事務作業など。資格のある方は特に歓迎。平時は一般のボランティアとして活動。

（特活）ピース ウィンズ・ジャパン（PWJ）
東京都世田谷区桜新町2-11-5
TEL 03-5451-5400
http://www.peace-winds.org/

災害救援・日頃の防災の両輪で活躍（全国）

１人では現地に入ることが難しいボランティアをサポートするために、ボランティアバスを派遣。ネットワークの結成、活動機材の送付、募金などでも幅広く活動。さらに災害ボランティアコーディネーター養成講座など、災害時に活躍できる「人づくり」を行う。

（特活）レスキューストックヤード
愛知県名古屋市千種区猫洞通5-21-2
TEL 052-783-7727
http://www.rsy-nagoya.com/rsy/

雪おろしで温かなふれあいを（福島）

各被災地の後方支援をするハートネットふくしまでは、何メートルも積もる豪雪地帯、福島県奥会津で、毎年雪おろし体験ボランティアを開催。雪おろしを通して地元の高齢者との交流を深め、災害時における食事の知恵を雪国から学び、地域の魅力も再発見。

（特活）ハートネットふくしま
福島県郡山市桑野１丁目22-11 サコービル4F-C
TEL 024-991-1701
http://park12.wakwak.com/~heart/

環境団体の専門性で心のケアを（全国）

被災地で手に入る素材を使って、被災した子どもたちの遊びを助けるボランティアから、避難所でのお年寄り向けの体操まで、全国的なネットワークとネイチャーゲームの専門性を生かした被災者支援を行う。活動に備える知識と技術を満載した書籍も出版。

（社）日本ネイチャーゲーム協会
東京都新宿区新宿5-18-20-2F　TEL 03-5291-5630
http://www.naturegame.or.jp/

行政機関のボランティア情報（全国）

各地の災害ボランティア窓口や、人材・資機材を調達できる機関の検索などに。

防災ボランティア（内閣府）
http://www.bousai-vol.jp/
災害ボランティア・データバンク（総務省消防庁）
http://www.fdma.go.jp/volunteer/index.cgi

提供：（特活）ハートネットふくしま

食と農

日本の食料自給率は40%（カロリーベース）と主要先進国の中で最低レベル。生活の基本である「食」でさえ、輸入に頼らざるを得ない中、地産地消、スローフード運動、グリーン・ツーリズムなど、郷土食の見直しや都市部と農山漁村の交流を図る動きも活発になっています。一度立ち止まって「食」と「農」を見直してみませんか。

棚田を守る（全国）

「棚田」は米を作るだけではなく、地すべり防止、洪水調節、豊かな生態系の維持、心安らぐ風景などの多面的機能を持っている。里山の自然を忘れてしまった人が、棚田に触れる中で上流（山村）と下流（都市）のつながりを取り戻せるように、農作業の応援や米づくり体験、棚田講座などを実施している。

（特活）棚田ネットワーク
東京都新宿区西新宿7-18-16-704
E-mail info@tanada.or.jp
http://www.tanada.or.jp/

都市と農山漁村をつなぐ（全国）

食料生産の現場を知らない都市生活者と、日本各地の農山漁村の交流を図るためのグリーン・ツーリズムを紹介している。農林漁業体験やその地域の自然や文化に触れ、土地の人たちとの温かい交流を楽しむグリーン・ツーリズムは、心と体をすっきりとリフレッシュさせてくれる。

（財）都市農山漁村交流活性化機構・ふるさとプラザ東京
東京都中央区八重洲1-5-3 不二ビル8 F
TEL 03-3548-2310 http://www.kouryu.or.jp/

地域の自然を、地域の人と守りつくる（東京）

長年、地域の障害者へのサポートを行ってきた総合ボランティア活動団体。西多摩地域に残された豊かな自然を守るために、農業に限らず、森林保全・福祉活動など、地域に根ざした幅広い活動を展開し、地域の活性化に貢献している。

（特活）花咲き村
東京都西多摩郡日の出町大久野1486
E-mail info@hanasakimura.or.jp
http://www.hanasakimura.or.jp/

自然の摂理に従うパーマカルチャー（神奈川）

パーマカルチャーは、植物や動物が本来持っている資質とその場所や建造物を活かし、最小限の土地を活用して、生命を支えるシステムをつくり出していく持続可能な農法。毎週火曜日にパーマカルチャーガーデンの日々の手入れなどを手伝うボランティアを募集している。

（特活）パーマカルチャー・センター・ジャパン
神奈川県津久井郡藤野町牧野1653番地口
FAX 0426-89-2224 http://www.pccj.net/

有機農場でボランティアする（全国・海外）

WWOOF（ウーフ）=Willing Workers on Organic Farmsとは、「有機農場で働きたいと思っている人たち」という意味。旅行者や若者が有機農場などでボランティアとして１日しっかり働くと、宿泊と食事が提供される。「気軽に有機農業体験をしてみたい」、「多種多様な考えの人々と出会いたい」という人に向いている。日本全国および世界各地に受け入れ農場がある。

WWOOF Japan
北海度札幌市東区本町2条3丁目6-7
E-mail info@wwoofjapan.com
http://www.wwoofjapan.com/

提供：WWOOF Japan

健康と化学物質・公害

私たちの毎日の暮らしと健康は、化学物質など見えない有害物によって危険にさらされているといわれます。公害問題を知ることは環境活動にかかわるための第一歩です。水質・大気汚染、子育てなど、生活環境向上のための地域での活動例をご紹介します。「知る・調べる・伝える」ボランティアに挑戦しよう。

ダイオキシン・環境ホルモン汚染を食い止める（全国）

地球上のあらゆる生物種の存続の危機をなんとか避けたいという思いから、全国の女性弁護士が各界に呼びかけ結成された。ブックレットの発行や、講師派遣、セミナー開催、政府への提言活動などを行っている。事務局ボランティア・インターンを随時募集。

ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議
東京都新宿区四谷1-21　戸田ビル４階
E-mail kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp
http://www.kokumin-kaigi.org/

アレルギーに悩む人たちとともに（全国）

アトピー・アレルギー性疾患を持つ患者とその家族の支援を通し、人と自然が共生し誰もが共に生きることができる社会を目指して、電話相談やセミナー・ワークショップ、調査、執筆、講師派遣活動などを展開中。子どもたちの環境教育キャンプを毎年行っている。

（特活）アトピッ子地球の子ネットワーク
東京都港区六本木4-7-14みなとNPOハウス3F
TEL 03-5414-7421　E-mail info@atopicco.org
http://www.atopicco.org/

水俣病事件を知る、伝える（全国）

公害の原点といわれる水俣病の発見から50年。まだ苦しむ人たちがいる現在、この苦く貴重な経験から学ぶことは多い。水俣病を通じて人間や社会について考える機会として、全国で「水俣展」やセミナーを開催し、多くの若いボランティアが参加している。

（特活）水俣フォーラム
東京都新宿区高田馬場1-34-12 竹内ローリエビル401　E-mail mf1997@mountain.ocn.ne.jp
http://www6.ocn.ne.jp/~mf1997/

公害地域の再生を目指して（大阪）

西淀川大気汚染問題をきっかけに、被害者・住民の立場から、地域と環境の再生に向けた調査研究、実践活動を行っている。展示企画、公害・環境問題に関する調査、生き物調べや患者の生きがいづくり、聞き取り調査など、活動メニューが充実。公害資料館あり。

（財）公害地域再生センター（あおぞら財団）
大阪府大阪市西淀川区千舟1-1-1　あおぞらビル４階　E-mail webmaster@aozora.or.jp
http://www.aozora.or.jp/

母親の視点からの情報発信（東京）

自然なお産や母乳育児を実践する中から学んだ、子育てと暮らしのさまざまな知恵を母親同士で伝えあうネットワーク。料理教室、育児講座、育児相談室やお茶会など、地域活動を盛んに行っている。子連れでのボランティアも可能。

（特活）自然育児友の会
〒183-0051　府中市栄町1-20-17
TEL 042-361-8565（月・水・金　10:00〜16:00）
E-mail info@shizen-ikuji.org

提供：あおぞら財団

持続可能な暮らし

持続可能な社会を目指す―環境負荷を最小限に留めるため、地球の一員として限られた地球資源を大切にし、多様な自然環境や野生生物と共存していこうというものです。とても大きな目標で、実践するのは難しそうですが、私たち一人ひとりが日常生活や地域でできることが沢山あります。興味のあるところから取り組んでみてください。

1 “選んで買う”環境パワー

環境に配慮した製品やサービスを選ぶ

「グリーンコンシューマー」とは環境に配慮した製品・サービスを選ぶ人のことです。環境に配慮した製品を選ぶ人が増えると、企業活動に影響を与えることもできます。イメージに惑わされずに環境に良いものを選ぶために、右記のサイトを参考にしてみてください。

グリーンコンシューマー研究会
http://www.green-consumer.org/
グリーン購入ネットワーク
http://www.gpn.jp/
環境ラベル等データベース（環境省）
http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/index.html

環境に配慮した企業を選んで買う・応援する

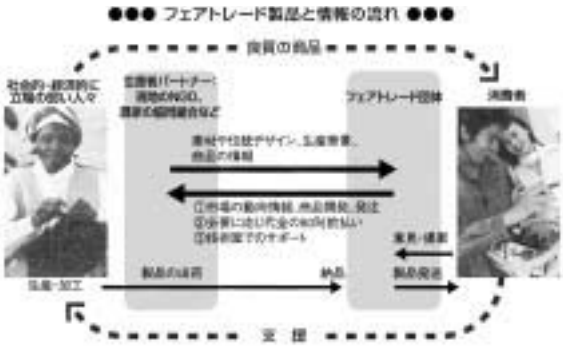
製品やサービスには直接的、間接的に自然資源が使われています。必要な原料を調達するところから製品の廃棄まで、自社の利益のためだけでなく、社会や自然環境が持続可能であるよう配慮している企業があります。賛同できる企業の製品を買うことは、一商品を選ぶよりも大きな変化を生み出します。各企業がどのような環境配慮を実施しているかは、企業が発行しているCSR報告書・環境報告書や、関連サイトを覗いてみてください。また経済性、環境適合性、社会適合性の3つの観点から評価し、賛同できる企業を選んで投資する「社会的責任投資」（SRI=Socially Responsible Investment）という方法もあります。

エコロジーシンフォニー（㈱クレアン） http://www.ecology.or.jp/
環境・社会貢献データベース（GEIC）
http://www.geic.or.jp/geic/partnership/search/scripts/search.php
環境報告書WEBシンポジウム（環境goo）
http://eco.goo.ne.jp/business/event/env_report/
日本SRI型投信一覧（社会的責任投資フォーラム）
http://www.sifjapan.org/typeoffunds.html

フェアトレード～持続可能な貿易を進めよう～その値段に環境コストは入っている？

グローバル化によって、安い輸入品がたくさん手に入るようになりました。しかし、消費者である私たちが安さを追求し過ぎると、生産現場の環境や働く人の体に負荷がかかる製造方法が採られたり、生産者が自立できるだけの収入を得られないケースがでてきます。フェアトレードは、適正な収入を生産者に届けることで、通常の貿易ルートに乗らない小生産者や小規模農家の人々の暮らしを向上させます。また自然農法や自然素材と伝統技術を生かし、持続可能な社会を形成できるよう支援しています。

ぐらするーつ　http://grassroots.jp
ネパリ・バザーロ
http://www.nbazaro.org/
ピープル・ツリー／フェアトレードカンパニー㈱
http://www.peopletree.co.jp/



（ピープル・ツリーより）

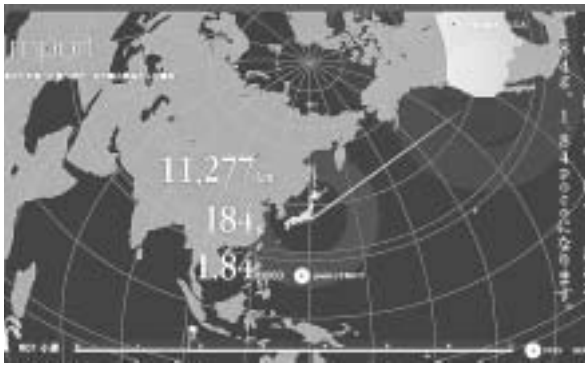
2 日々の暮らし～毎日している「食べる、住まう」を通じてできること

地元や近場で取れた旬のものは、ちょっと値段が高いこともありますが、栽培過程や運送の余計なエネルギーがかかっていない分、新鮮で環境コストも低いといえます。生産過程や作り手のことをも考えながら食生活を営むことで、農業や地域が活性化されます。

住居に関しても地元の木を活用すれば、荒れた森林に手が入り、森のみならず土壌や水環境の保護・再生につながります。

■何気なく食べているものについて考えてみる
スローフードジャパン
http://www.slowfoodjapan.net/
フードマイレージ・キャンペーン（大地を守る会）
http://www.food-mileage.com/

■地元の木で家を造る
（特活）緑の列島ネットワーク
http://www.green-arch.or.jp/
東京の木で家を造る会　http://www.forest.gr.jp/



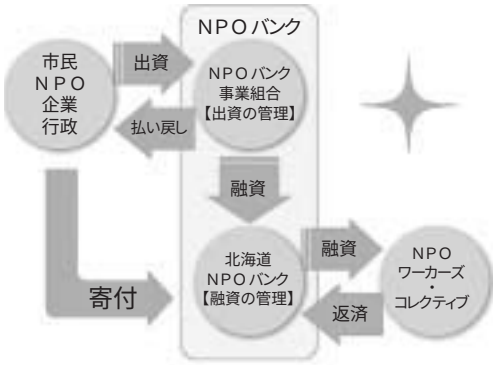
アメリカ産小麦のパン一１斤に比べ、国産小麦の食パンを食べることで、冬自宅のエアコンの温度を1℃下げるくらいCO_2を減らすことができます。（フードマイレージ・キャンペーンHPより）

3 お金の使い方も工夫次第

「貯金する」ことは日常的な経済活動です。銀行に預けられたお金は、私たちの意思と関係なく環境問題や南北問題といった問題を助長させるような事業に投資されている可能性があります。お金の流れを環境や人権に配慮したものに変え、豊かな地域や持続可能な社会を目指す、ＮＰＯバンクや市民ファンドといった仕組みがあります。

■市民・NPOバンクを利用
全国NPOバンク連絡会
http://www.npobank.net/

■代替エネルギーのための投資
㈱自然エネルギー市民ファンド　http://www.greenfund.jp/
全国グリーンファンド連絡会（各地の団体一覧）
http://repp.jp/content/view/22/12/



北海道NPOバンクの仕組み
（コミュニティ・ビッグバン・プロジェクトHPより）

4 必要なものを必要な分だけ

社会にあふれる物やサービスは、すべて環境資源を利用して提供されています。それらが本当に必要か、一度考えてみませんか。「必要ないものは買わない」、「余計なエネルギーや資源を使わない」ことが、ごみの減量、地球温暖化や環境破壊の防止につながります。家庭での掃除ひとつとっても、いつも台所にある素材を使って、環境や健康に配慮できます。「ナチュラルクリーニング」などのキーワードで、本やインターネットを検索してみてください。

■余計に使わない、買わない
無買デー・ジャパン
http://www.bndjapan.org/
100万人のキャンドルナイト
http://www.candle-night.org/

■ごみの減量
（特活）ごみ・環境ビジョン21
http://www2u.biglobe.ne.jp/~GOMIKAN/

■地球温暖化防止
家庭でできる温暖化対策（JCCCA）
http://jccca.org/content/section/4/626/

NPOサポーター

自然の中で活動するだけが、環境ボランティアではありません。プロジェクトの企画にかかわる、仕事での経験を生かして経理や労務を担当する、遠くに住んでいてもパソコンを通して参加する、NPOの販売する製品を購入するなど、さまざまな形でNPOの活動を支えることができるのです。

1 事務局をたずねてみよう

NPOの多くは、日常的な事務作業も熱意あるボランティアに支えられています。ニュースレターの編集や発送から、海外情報の翻訳、イベントのお手伝いまで、あなたの特技を生かせる仕事がきっとあります。こうしたボランティアはNPOの日ごろの活動を知る、いいきっかけにもなります。

事務局でのボランティア

◎自分のできることから
ニュースレターの発送、新聞切り抜き、データ整理・入力、電話番、事務所の整理、備品管理

◎専門性を生かして
会計、労務、講師、相談員、ホームページ・ニュースレター作成、編集

自宅でもできる・1人でもできる
ビデオ・テープ起こし、翻訳、ホームページ作成、各種調査

1日でも参加できる
イベント手伝い（グッズ販売、受付、司会、会場案内、写真撮影、運転手、ごみ処理、連絡係、備品管理）

興味のある分野でやりたいことを

地球温暖化防止を目的として活動する気候ネットワークのボランティアは、シンポジウムやセミナーの開催、調査・研究、ニュース発送作業など事務局の仕事を支えるとともに、ボランティア自身が企画・運営する活動も行っている。小学校でのワークショップ開催、自主勉強会、ボランティア同士の情報交換ができるニュースの発行など、各自が興味のある分野で、空いている時間に楽しく活動している。

（特活）気候ネットワーク　http://www.kikonet.org/
京都府京都市中京区高倉通四条上ル高倉ビル305号
TEL 075-254-1011　E-mail kyoto@kikonet.org
東京都千代田区麹町2-7-3半蔵門ウッドフィールド2階
TEL 03-3263-9210　E-mail tokyo@kikonet.org

日本の環境情報を海外に広く発信

ボランティアが主役となって活動しているのがJFSの大きな特徴。海外に毎月30本発信している記事の作成・英訳などの日常的な活動のほか、必要に応じてさまざまなチームが結成される。関心のある人は「ボランティアML」に登録し、常設チームで活動するほか、事務局からの呼びかけに応じてプロジェクトに加わる仕組みだ。日ごろはオンラインで活動している仲間と「ボランティア・ミーティング」で親睦を深められるのも魅力。

ジャパン・フォー・サステナビリティ（JFS）
神奈川県川崎市多摩区三田1-12-5-138
E-mail info@japanfs.org
http://www.japanfs.org/index_j.html

全国の青年環境団体をネットワーク！

エコ・リーグは全国の青年の環境活動をサポート、多様な企画を打ち出し、青年の環境活動全体を活性化することで、持続可能な社会の構築を目指す環境NPO。全国大学生環境活動コンテスト、環境就職相談会、合宿形式のイベントなど、出会いの場を提供する。事務所は東京と大阪にあり、青年のボランティアスタッフが運営。放課後や仕事帰りなど、自分のペースで活動している。

エコ・リーグ（全国青年環境連盟）　http://portal.eco-2000.net/
関東事務所：東京都新宿区神楽坂2-19　銀鈴会館507
TEL 03-5225-7206　E-mail eleague@mxa.mesh.ne.jp
関西事務所：大阪府大阪市北区国分寺1-7-14 国分寺ビル6F 天六さじき内
E-mail ecokansai@yahoo.co.jp

提供：エコ・リーグ

2 生活の中にボランティアを取り込んでみよう

「子育て真っ最中で時間がない」「体力に自信がない」など、興味はあるが、なかなか行動には移せないという人も、日々の暮らしの中で、NPOを支え、環境問題の解決へ向けた行動を起こすことはできます。

寄付機能つきカードを使ってお買い物

利用額の一定割合を自動的にNPOに寄付する社会貢献型のクレジットカードや、寄付機能のついた貯金システムを利用することで、間接的に環境活動を支援できます。社会貢献型のクレジットカードは、利用者の負担はなく、カード会社やスポンサー企業が利用額の0.5%程度を、企業の社会貢献としてＮＰＯなどに自動的に寄付するというシステムです。

NPOのオリジナルグッズを買う

NPOの制作したカレンダー、Ｔシャツ、カード、便せん、食器など楽しいグッズがいろいろ。Tシャツはデザインも優れたものが多く、着て歩くだけで、そのNPOのメッセージを発信することにもなります。インターネットやカタログ販売、イベントで購入できます。

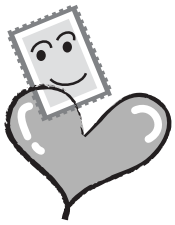
NPO発行書籍を買う

NPOの中には、優れた調査能力や政策提言能力を持ち、それを出版という形で発表している団体が多数あります。このようなNPOが発行する書籍や機関誌を購入することで、NPOを支え、活動をじっくりと知ることができます。書店では販売していないことが多いので、下のカタログを参考に、直接問い合わせよう。

『NPOブックカタログ2005』
（地球環境パートナーシッププラザ編）
http://www.geic.or.jp/geic/2005/info/catalog/GEIC_book_catalog.pdf

古切手やプリペイドカード・書き損じはがきを寄付する

どこの家庭にもあるこうした不用品も、NPOに送ると換金して活動資金になります。集めている団体を探してみよう。どんなものを集めているか、どのように送付したらよいかをあらかじめ確かめることが大切。



NHK ボランティアネット「ボランティア便利帳」
http://www.nhk.or.jp/nhkvnet/top.html

3 こんな活動もできる

調査ボランティア

地域や家庭で調べた、身近な生活環境や自然環境データを集約すると、日本や地球全体の調査ができます。家族で参加できるもの、１日だけの気軽に参加できる調査もあります。

自然しらべ
一人ひとりが近所の自然を調べる、日本の自然の「健康診断」。
（財）日本自然保護協会　http://www.nacsj.org.jp/event/ss2005/
グリーンマップ
身近な環境を世界共通のアイコン（絵文字）で表した地図を作り、地域の環境状況を確認・再発見。
（特活）グリーンマップジャパン　http://greenmap.jp/
インターネット環境家計簿
電気やガスなどの使用量を入力して、家庭からの二酸化炭素排出量を知り、一般家庭の平均値と比較・評価できる。
（特活）地球環境と大気汚染を考える全国市民会議（CASA）　http://www.shiftra.jp/casa/system/

●油と森の交換システム「ユーズの森」とは？

使い終わった天ぷら油、みなさんの家庭ではどうしていますか？上手に精製すれば、廃食油はバスを走らすこともできる立派なエネルギー資源。「ユーズの森」プロジェクトでは、家庭からの廃食油をVDFというエネルギーにリサイクルしています。10回送ると地域通貨で167ユーズが発行され、福島県只見の森１坪と交換できる仕組み。

「ユーズの森」プロジェクト　油と森の交換システム　http://vdf.co.jp/book/

環境ボランティア情報の探し方

環境ボランティア情報を集めるには、環境情報センター、ボランティアセンターなどの施設を訪ねる、各都道府県の役所の担当課に問い合わせる、インターネットで検索する、メールマガジンを取る、書籍・雑誌から探す、などさまざまな方法があります。

●ボランティア相談窓口 ・・・・

これらの機関では、あなたの地域のボランティア相談窓口を紹介してくれます。

東京ボランティア・市民活動センター（TVAC）

http://www.tvac.or.jp/　TEL 03-3235-1171

ボランティア・NPOに関する相談に応じる。都内・都道府県のボランティアセンターやNPO支援センターの連絡先を検索できる。ボランティアサイト「ボラ市民WEB」がお勧め。

（社福）大阪ボランティア協会

http://www.osakavol.org/　TEL 06-6465-8391

通勤・通学エリアを中心とした、ボランティア・市民活動情報「主に関西！ボランティア・市民活動情報ネット」をウェブサイトで公開。常時約1,000件の情報が検索できる。

（社）日本青年奉仕協会（JYVA）

http://www.jyva.or.jp/　TEL 03-3460-0211

国内外のボランティア活動に関する情報提供を行っている。電話や訪問による問い合わせに対応。

（特活）日本 NPO センター

http://www.jnpoc.ne.jp/
（NPO法人データベース　http://www.npo-hiroba.or.jp）

NPOに関する幅広い情報の収集と発信をする。全国各地域のNPO支援センター、NPO法人情報などを検索できる。

全国体験活動ボランティア活動総合推進センター

http://volunteer.nier.go.jp/　TEL 03-3823-8687

都道府県の体験活動ボランティア活動支援センターのための全国的支援組織。体験活動ボランティア活動のレファレンスや活動事例の収集・提供、講師の派遣相談などを行っている。

（財）さわやか福祉財団

http://www.sawayakazaidan.or.jp/
TEL 03-5470-7751
（**人間力plus digital**　http://www.ningenryoku-plus.jp）

「新しいふれあい社会」の創造を目的に、誰もが最後まで自分らしく生きられる社会を目指している。勤労者の社会参加・ボランティア参加のきっかけづくりとなる「人間力再生プロジェクト」では、全国ボランティア受入団体一覧のあるサイトがある。

（特活）国際協力NGOセンター（JANIC）NGO市民情報センター

http://www.janic.org/
TEL 03-5292-2911

国際協力の分野のNGOの情報提供を行っている。ニュースレターのボランティア情報が充実。「国際協力NGOダイレクトリー」では、NGO団体情報を検索できる（http://www.janic.org/modules/weblinks2/?tmid=5）。

●ボランティア情報充実サイト ・・・・・・・・

●全国エリア

NHKボランティアネット

http://www.nhk.or.jp/nhkvnet/top.html

すぐに役立つボランティア情報、各種の講座やイベントの情報。

内閣府ボランティアWeb

http://www.npo-homepage.go.jp/volunteer.html

団体情報、イベント情報、募集情報、活動体験を紹介。

チャリティオークション

http://www.charity.co.jp/

地球環境のために活動するNPO・NGOに対する支援の情報、寄付、募金、チャリティ、ボランティア情報を紹介。

NPO情報ネットワークセンター

http://www.npo-jp.net/

都道府県別検索マップで、地域別ボランティア情報を検索できる。

全国ボランティア活動支援 GREEN LINE

http://homepage2.nifty.com/greenline/

ボランティア紹介と活動支援を行う民間ボランティアサイト。

大学のボランティアセンター

～学問と市民社会のつなぎ役～

大学の中に、ボランティアセンターを併設するところが増えている。下記はその一例。学生に限らず、国籍性別年齢を問わず、ボランティア登録できるところもあるので、探してみよう。

- ●東北福祉大学ボランティアセンター
  http://www.tfu.ac.jp/volunt/
- ●立教大学ボランティアセンター
  http://www.rikkyo.ne.jp/grp/kohoka/univ_data/osirase/volunteerindex.html
- ●明治学院大学ボランティアセンター
  http://voluntee.meijigakuin.ac.jp/
- ●立命館大学ボランティアセンター
  http://www.ritsumei.ac.jp/acd/cg/ss/vc/
- ●龍谷大学ボランティア・NPO活動センター
  http://www.ryukoku.ac.jp/npo/

お勧め本

『**大学ボランティアセンターガイド**』
全国社会福祉協議会全国ボランティア活動振興センター発行
03-3581-4656
全国の大学ボランティアセンターリストが掲載されている。

Yahoo！ボランティア

http://volunteer.yahoo.co.jp/

団体情報、イベント、セミナー、スタディーツアーなどに関する全国的な情報を掲載。

eco 2000（エコ・リーグ）

http://portal.eco-2000.net/

地域、活動テーマ、団体情報などから全国の学生・青年環境活動情報を検索できる。

ViVa！ ボランティアネット

http://www.viva.ne.jp/

イベント、募集、団体情報などを公開。

NPO/NGO Walker

http://www.npo.info/

NPO/NGO、ボランティア、コミュニティ・ビジネスなど、幅広く市民活動に関する情報を紹介している。

EICネットイベント情報

http://www.eic.or.jp

環境関連のさまざまなイベント情報を紹介。

環境 goo

http://eco.goo.ne.jp/

環境ボランティア、グリーン雇用などの最新情報を紹介。

エコロジーオンライン

http://www.eco-online.org/

毎週最新の環境ニュースを中心にしたメールニュースを発行。月間60万のアクセスを誇る。

ぼらんねっと

http://www.volun-net.com/

キーワード、地域、カテゴリーでイベント情報を検索できる。

エコリンク

http://www.ecolink.jp/

環境活動の情報交換・情報共有の場として、掲示板やイベントカレンダーを活用。

Volunteer Link ボランティア活動応援サイト

http://volunteer.lantecweb.net/

活動分野別にボランティア情報を検索できる。

e-ボランティア・ネット

http://www.e-volunteer.ne.jp/

インターネットを利用した募金・寄付のポータルサイト。

●海外情報が充実！

バンザイ・インターナショナル

http://www.banzai-international.com/

海外ボランティア・ワーキングホリデー・語学留学の専門店。

ボランティアポスト（郵便局のボランティア情報）

http://www.yu-cho.japanpost.jp/volunteer-post/

開発途上地域の現状やNGOの活動状況、イベント情報が満載の情報誌が読める。

スペースアルク　ボランティアJAPAN

http://www.alc.co.jp/clubalc/vj/

地球市民のネットワークを目指して情報提供。

JICA ボランティア事業

http://www.jica.go.jp/activities/volunteer/

青年海外協力隊など、多数のプログラムが充実。

●エリア限定

ちば環境情報センター

http://www.ceic.info/

千葉県内を中心とした環境保全活動の情報の収集・発信基地。

大阪市ボランティア情報ネットワーク

http://www.osakacity-vnet.or.jp

大阪市周辺の講座やイベントなどの情報がぎっしり。

奈良ボランティアネット

http://www.nvn.pref.nara.jp/

奈良県内外で活動する団体の検索ができる。

福岡県 NPO・ボランティアセンター

http://www.fvoc.gr.jp/

福岡県内で活動する団体の情報。

ぼらみみ

http://www.boramimi.com/

名古屋を中心とする地域のボランティア情報。

シニア世代は新しい市民社会の担い手

退職後に、今まで培った経験や能力を生かして、ボランティア・市民活動に新しいエネルギーを吹き込んでみませんか。入門者向けサイトをご紹介します。

- JICA～シニア海外ボランティア
  http://www.jica.go.jp/activities/sv/
  シニア海外ボランティアのいろはがわかる。現地からの映像・画像、データが豊富。
- 環境goo～シニアボランティア
  http://eco.goo.ne.jp/word/volunteer/S00178.html
- All about Japan はじめてのシニアボランティア
  http://allabout.co.jp/family/volunteer/subject/msubsub_senior-kiji.htm
- Yahoo!ボランティア～豊かな経験を海外で発揮
  http://volunteer.yahoo.co.jp/feature/international_cooperation/activities/2.html
- 東京ボランティア・市民活動センター
  ～シニア世代のボランティアを広げるために
  http://www.tvac.or.jp/o/tvac/projects/seniorv.html
- シニア・ナビ
  http://www.senior-navi.com/ikigai/volunteer.html

お勧め本

『**企業人とシニアのための市民活動入門**
―会社から地域へ、そして再び社会へ』
『**団塊の世代が切り開く新しい市民社会**
―マスターズボランティアの可能性』

いずれも
大阪ボランティア
協会発行
定価1,260円

●ボランティアに関する参考書籍 ・・・・・・

『あなただからできる自然災害ボランティアABC』

日本ネイチャーゲーム協会編、ネイチャーゲーム研究所発行、定価1,575円

10年間の自然災害ボランティア活動経験に基づき、知識や技術、心構えをまとめた書。子どもたちを相手に自然体験活動をする団体ならではの被災地活動があることに気づく。

『まあるい地球のボランティア・キーワード145 ～ボランティア学習事典～』

日本ボランティア社会研究所ボランティア学習事典編集委員会編、春風社発行、定価2,500円

身のまわりの問題から地球規模の課題まで関連用語を網羅したボランティア活動初の本格的キーワード集。各方面の第一人者による用語解説は読み物としてもおもしろい。

『希望への力―地球市民社会の「ボランティア学」―』

興梠寛著、光生館発行、定価2,940円

ボランティアの意義・歴史・活動・組織・制度・学習方法を網羅した、ボランティア世界へいざなう入門書。ボランティアについて学びたい人はもちろん、まだ興味が沸かないという方にもお勧めの一冊。

『関西環境ボランティアガイドII』

関西環境情報ステーションpico編集・発行
定価1,260円

大阪・京都・兵庫・奈良・滋賀・和歌山の環境NGO/NPO、82団体の詳細なガイドと220団体の住所・電話帳。「関西で環境ボランティアをしてみたい」という入門者必読の書。

『自転車は街を救う ―久留米市学生ボランティアによる共有自転車の試み』

水色の自転車の会編、新評論発行、定価2,100円

自動車中心の都市交通対策を見直し、人間の力で動く合理的な乗り物「自転車」を、バスや市電と同等な公共交通手段として位置づける取り組みに挑戦した学生ボランティアの記録。

『環境の仕事に就く！』

川端由美編、ソニー・マガジンズ発行、定価1,680円

環境に貢献する生き方と仕事に就くことは二者択一ではない。環境に貢献しながら働く、環境に貢献する仕事に就く―そうした暮らしを実践する人たちの生き方・考え方を、企業やNPOをはじめ、幅広く紹介。

『初めてのボランティア―自分を生かす・ひとりからできる』

石井里津子編、ほんの木発行、定価1,427円

20ジャンル、段階別60の方法を掲載。無理せず、できることから手がけてみたい。でもどうすれば？―せっかく芽生えたボランティア精神を大切にしたいと生まれたアイディアあふれる一冊。

『世界のワークキャンプ ―Work Camp in the World 2006』

NICE（日本国際ワークキャンプセンター）編集・発行

年間世界97カ国、2,700カ所で行われている国際ワークキャンプを地域、分野、期間から探せる。ページを開ければあなたにぴったりのものが見つかるはず。申し込み方法も丁寧にガイドされている。

『ヤッテボラン』（内閣府）

全国のボランティア活動がカラーで紹介されている。ウェブサイトからダウンロード可。

月刊『ボラみみ』（ボラみみより情報局）

名古屋市を中心としたボランテイア情報を毎月発行。ウェブサイトも充実。ぼらみみ隊が取材・体験した読み物もおもしろい。

月刊『ボランティア情報』（全国社会福祉協議会）

行政や広域的なボランティア団体の動向、全国からのレポート、書籍、ボランティア保険など役に立つ情報満載。全国各地域のボランティアセンターでは、それぞれ地域のボランティア情報を載せた機関誌を発行している。近くのボランティアセンターに問い合わせてみよう。

＊定価はすべて税込み。

「環境らしんばん」を使って ボランティア情報を探そう！

http://plaza.geic.or.jp/

地球環境パートナーシッププラザのホームページ内にある「環境らしんばん」には、環境ボランティアの情報が満載です。「何かおもしろいボランティアがあればなあー」そう思ったらまず最初にアクセスしてみよう。そのほか、登録している環境NPOの団体情報やイベント、セミナー、スタッフ募集、本の紹介など、環境ボランティアに興味のある人には楽しい情報が盛りだくさんのデータベースです。

「環境らしんばん」に関する問い合わせ先

地球環境パートナーシッププラザ（担当：伊藤）
TEL 03-3407-8107 / FAX 03-3407-8164
E-mail: rashinban@geic.or.jp

掲載団体一覧

団体名	ページ
あ	
アイサーチ・ジャパン	11
アースウォッチ・ジャパン	11
アサザ基金	9
A SEED JAPAN	12
あたり前の家づくりNET＆寺子屋	4
アトピッ子地球の子ネットワーク	17
WWOOF Japan	16
エコ・リーグ（全国青年環境連盟）	20
国際環境NGO FoE Japan	8
OWS	14
か	
環境NGO ezorock	4
環境市民	13
環境修復保全機構（ERECON）	14
環境省	10, 18
気候ネットワーク	20
ぐらするーつ	18
クリーンアップ全国事務局（JEAN）	12
グリーン購入ネットワーク（GPN）	18
グリーンコンシューマー研究会	18
グリーンマップジャパン	21
green bird 事務局	12
グリーンピース・ジャパン	14
公害地域再生センター（あおぞら財団）	17
五色台パークボランティア	7
ごみ・環境ビジョン21	19
コーラル・ネットワーク	9
国土緑化推進機構	8
さ	
里山ネット・あやべ	10
サーフライダー・ファウンデーション・ジャパン	5, 9
三番瀬環境市民センター	9
自然育児友の会	17
自然エネルギー市民ファンド	19
自然体験活動推進協議会（CONE）	13
社会的責任投資フォーラム	18
ジャパン・フォー・サステナビリティ	20
樹木・環境ネットワーク協会	10
JUON NETWORK	8
スローフードジャパン	19
セブンサミッツ持続社会機構	12
全国グリーンファンド連絡会	19
全国水環境交流会	9
全国地球温暖化防止活動推進センター	19
総務省消防庁	15
た	
ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議	17
体験活動ファシリテーション協会	13
棚田ネットワーク	16
タンザニアポレポレクラブ	5
地球環境と大気汚染を考える全国市民会議	21
地球緑化センター	7
東京港グリーンボランティア	10
都市農山漁村交流活性化機構	16
東京の木で家を造る会	19
トラフィック イーストアジア ジャパン	11
な	
NICE（日本国際ワークキャンプセンター）	14
内閣府	15
にっしん市民環境ネット	6
日本ウミガメ協議会	6
日本環境教育フォーラム	13
日本熊森協会	11
日本災害ボランティア・ネットワーク	15
日本自然保護協会（NACS-J）	13, 21
日本森林ボランティア協会	8
日本釣り環境保全連盟	12
日本ナショナル・トラスト協会	10
日本ネイチャーゲーム協会	15
ネパリ・バザーロ	18
は	
ハートネットふくしま	15
花咲き村	16
パーマカルチャー・センター・ジャパン（PCCJ）	16
ピース ウィンズ・ジャパン	15
ピープル・ツリー／フェアトレードカンパニー	18
ま	
緑の列島ネットワーク	19
水俣フォーラム	17
森づくりフォーラム	8
守山リス研究会	11
や	
ユーズ	21
ら	
緑化ネットワーク	14
レスキューストックヤード	15

やってみよう！ 環境ボランティア

2007年7月第2版発行

発行所　地球環境パートナーシッププラザ（GEIC）
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70国連大学1F
TEL. 03-3407-8107　FAX. 03-3407-8164
開館時間　10～19時半（土曜は17時まで、休館：日・月・第4金・祝）
http://www.geic.or.jp/geic
環境パートナーシップオフィス（EPO）
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67コスモス青山B2F
TEL. 03-3406-5180　FAX. 03-3406-5064
利用時間　10～21時（土曜は17時まで、休館：日・月・祝）

装丁　ハッタケンタロー

印刷所　倉敷印刷株式会社

〈編集協力〉
GEIC学生ボランティアグループ「えこたま」
星原隆幸（明治学院大学）、金子真実（青山学院大学）、杉山佑里子（早稲田大学）
北海道環境パートナーシップ・オフィス（北海道EPO）
四国環境パートナーシップ・オフィス（四国EPO）
きんき環境館（きんきEPO）

用紙：本文 古紙100%
表紙 古紙35%、バガス50%
インキ：植物油インキ

〈表紙写真提供〉
FoE Japan、OWS、環境市民、green bird事務局、自然育児友の会、全国水環境交流会、体験活動ファシリテーション協会、ハートネットふくしま

あなたの「できること」が新しい社会をひらく

難しいコト考えず、
まずはやってみよう！

この本をきっかけに環境ボランティアをする人が増え、
一人でも多くの人が地球の未来を考えるようになることを願っています。

環境ボランティアの始め方などは環境情報を発信しています。詳しくはホームページをご覧ください。

地球環境パートナーシッププラザ　http://www.gelc.or.jp/gelc